

平成21年 11月25日

報道機関各位

“業界最小” 金融機関向け超小型オープン出納システムを開発 ～幅わずか99cmの省スペースボディで出納業務をフルサポート～

グローリー株式会社

姫路市下手野一丁目3番1号

TEL(079)297-3131

代表取締役社長 西野秀人

資本金 128億9,294万7,600円(発行済株式数6,983万8,210株)

従業員数 3,540名

【概要】

この度弊社は、業界最小のオープン出納システム「WAVE C30」を開発し、本年12月16日より発売致します。これまでグローリーは金融機関に対し、出納業務の機械化・厳正化を提案してまいりましたが、出納業務に必要なフル機能を搭載した小型の出納システムをラインナップに加え、より多様な店舗の運営リスク低減に貢献してまいります。

オープン出納システムとは、金融機関の営業店において、従来、出納担当者を介して行っていた入出金などの現金処理を、窓口担当者や営業担当者が各自で完結することを可能にしたシステムです。

弊社は1986年に業界に先駆けて「ADDSシリーズ」を開発し、出納業務の無人化を実現しました。その後1990年には、入金紙幣を出金用に利用するリサイクル機能と、100枚毎に自動で帯封する機能を搭載した「MFSシリーズ」を開発。1995年には、周辺機器と紙幣カセットを共通化した「ODDSシリーズ」を、1997年には、「WAVEシリーズ」を開発し、さらにその後も硬貨の自動包装とリサイクル機能を加え、進化させて参りました。初代シリーズの発売から20年、オープン出納システムはお客さまの圧倒的な支持を頂き業界トップシェア製品に成長するとともに、当社にとっては、金融市場事業の根幹を担う製品となっております。今回の「WAVE C30」は、この強固な基盤を生かし更なる事業拡大の可能性を追求するものです。

近年、金融機関では、新BIS規制*1が導入されたことで、これまで以上にオペレーショナルリスク*2低減が課題となる中、オープン出納システムは出納業務の効率化だけでなく厳正化にも効果を発揮することから、多くの金融機関で採用いただいております。

しかし現在、国内に約33,000店舗ある金融機関営業店舗の半数以上を占める、中小規模の店舗では、マンパワー不足を補うべく、機能が充実した機器が求められておりますが、設置スペースやコスト面の課題から、まだ導入に至っておりません。

このような市場背景の下、「WAVE C30」の開発にあたり、「省スペース」と「フル機能」両方の実現を目指しました。従来の束紙幣保管を見直し、紙幣は全てバラ紙幣で保管。小束紙幣は都度帯封出金する方式に変更することにより、バラ硬貨自動包装機能を備えているにも関わらず従来機比約50%のコンパクト化を実現しました。また、機器操作は従来製品を踏襲しており、全店で同一の機械操作をすることが可能です。

「省スペース」と「フル機能」の両方を兼ね備えた「WAVE C30」は、こうした店舗の現金処理業務の効率化と厳正化をサポートできると確信しております。

弊社では、今後さらなるお客様のニーズに応えるべく、新たな製品開発に注力してまいります。

*1 新BIS規制(バーゼルⅡ)

BIS 規制とは、1988 年にバーゼル銀行監督委員会によって提言された、金融機関(国際基準行)の自己資本比率規制のことで、2007 年 3 月から改訂実施された基準は新 BIS(バーゼルⅡ)規制と呼ばれています。

新 BIS 規制は、①最低自己資本比率規制、②金融機関の自己管理と監督上の検証、③市場規律、の 3 つの柱から構成されています。

最低所用自己資本比率の算出は、「リスクに対する所用自己資本」の割合で算定され、国際統一基準行(海外営業拠点を有する金融機関)は 8%、国内基準行は 4%とされています。新BIS規制では、従来の信用リスク、市場リスクに加え、オペレーショナルリスクが加わりました。

*2 オペレーショナルリスク

オペレーショナルリスクとは、事務手続き上の事故、システム障害、不正行為などで損失を被るリスクのことで、リスクが高いほど自己資本比率の低下を来すため、金融機関では業務の厳正化が課題となっており、適正な事務手続きの徹底や、機械化によるミス防止等の対策が進められております。

【WAVE C30の特長】

1. 超小型設計

WAVE 700シリーズ※と比べ、設置面積を約 50%削減。

これまでオープン出納システムの設置が難しかった店舗にも設置可能です。

WAVE C30 横幅：990mm、奥行き：720mm

※比較対象はWAVE 730

WAVE 730 横幅 1,700mm、奥行き：820mm

2. フルリサイクル機能

入金した紙幣・硬貨を再び出金用として利用できるリサイクル機能に加えて、紙幣・硬貨とも自動で施封／包装して、さらに出金用資金として還流する『フルリサイクル機能』を搭載。

3. 操作性の統一

WAVE C30はWAVE 700シリーズで好評をいただいた、シンプルで分かり易い操作方法を継承。全店で同一の機器操作とすることが可能です。ミスの低減や研修コストの削減、あるいはBCP(事業継続計画)の側面から大きな効果が期待できます。

4. 省電力設計

メカ制御をはじめとする電気回路を見直し、従来機と比べて消費電力を約15%削減しました。